

テーマ別パスファインダー



Ethnicity/Ethnic Identity



✧ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2013年1月22日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングコモンズ るくす | LSチーム

I. イントロダクション

＜ Ethnic Identity とは？

Ethnicという概念は文化人類学の用語であり、共通の出自、慣習、言語、宗教、身体的特徴などに基づいて特定の集団のメンバーが持つ主観的帰属意識やその結集原理を意味することばである。また、Ethnicityとは、人間たちの形作るコミュニティを他と区別する文化的習わしや見地、言語、(実際のまたは想像上の)歴史ないし由来、宗教、服装とか装飾の様式のことであり、その差異は「すべて学習された」ものである(ギデンズ)。Ethnic Identityとは、これらEthnic/Ethnicityをめぐる帰属意識のことを一般的には指しているが、研究者の数だけ定義があるとも言われている。

関係分野：人類学、社会学、民俗学など

II. 初めて学ぶ人へ

＜ マルコ・マルティニエツロ著；宮島喬訳(2002)『エスニシティの社会学』白水社

「エスニシティ」という用語は、どのように語られてきたのか？本書は、そんな疑問に答えるべく、ジェンダーやグローバリゼーションの問題などをも射程に収め、現代世界への視座を与えてくれる、現代人必読の一冊です。【外国図-4階新書 361.4||319】

＜ ベネディクト・アンダーソン著(1997)『想像の共同体：ナショナリズムの起源と流行』NTT出版

著者は、我々の意識の中にいかに巧妙に共同体意識が形成されていったのかを明快に解き明かしてくれる。政治・地域研究者の必読書。この本はとても有名です。【外国図-4階開架 311.6||27】

＜ 青柳まちこ編・監訳(1996)『「エスニック」とは何か：エスニシティ基本論文選』新泉社

エスニックや、エスニシティということばを知ろう、使おうとしたときに避けては通れない有名な論文を集めた1冊。まずはここから読んでみよう。【外国図1階書庫一般 389.04||61】

＜ 中野秀一郎，今津孝次郎編(1993)『エスニシティの社会学：日本社会の民族的構成』世界思想社

国際化を迎えた日本のエスニシティの多様性について社会的視点から迫った本。自らのなかに存在する外国人・在留者や、異民族としてのアイヌに目を向け考えていくための助けとなります。【外国図1階書庫一般 361.41||124】

III. さまざまな Ethnicity/Ethnic Identity のありよう

- ◀ **金泰泳著（1999）『アイデンティティ・ポリティクスを超えて：在日朝鮮人のエスニシティ』世界思想社**
日本における在日朝鮮人の方々のアイデンティティのありようが、膨大なインタビューデータをもとに鮮やかに描き出されている。【外国図-4 階開架 316.81||131】

- ◀ **松本和良，江川直子編（2001）『アイヌ民族とエスニシティの社会学』学文社**
本書は、現代日本社会におけるアイヌ民族系住民の生活実態と意識・態度を福祉コミュニティとの関連で探求されている。【外国図-4 階開架 389.1||84】

- ◀ **S. マーフィ重松著（2002）『アメラジアンの子供たち：知られざるマイノリティ問題』集英社**
アメラジアンとよばれる人びとについて知っていますか？「アメラジアン」とは、アジア国籍を持つ親とアメリカ国籍を持つ親の間に生まれた人々を総称することばである。アジア各国や日本、そして沖縄のフィールドワークを通じてアメラジアンの問題について光を当てた作品。【外国図-4 階新書 369.2||315】

- ◀ **津田浩司著（2002）『「華人性」の民族誌：体制転換期インドネシアの地方都市のフィールドから』世界思想社**
スハルト体制の崩壊前後の、インドネシア華人についての民族誌。従来のエスニシティ論にインパクトを与え、東南アジア理解に欠かせぬ華人研究の礎石となる一冊。【外国図-4 階開架 334.5||137】

- ◀ **三田千代子編著（2011）『グローバル化の中で生きるとは：日系ブラジル人のトランスナショナルな暮らし』世界思想社**
グローバル化を生きる日系ブラジル人の人びとを例に国家という枠組みにとらわれない人の生き方や社会文化的様相を探っている一冊。【外国図1 階書庫一般 334.4||717】

✧ [パスファインダーの凡例]

✧ 図書情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

✧ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近1~2年に出版されたものは3階雑誌コーナー、バックナンバーは1階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

✧ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。

✧ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。